

利用者実態調査（案）について

実証運行を検証し、来年度からの本格運行に向けた改善方策を検討するための指標のひとつとして、コミュニティバスの利用者実態調査を実施する。

○調査の概要

調査種別	調査期間	調査内容	分析内容
乗車人員調査	毎日	ルート別に便別、バス停別の乗車人員を調査	・乗車人員（利用者数）の推移 ・曜日別、バス停別、便別の需要
降車人員調査	7～10月の 毎月1週間ずつ （計4週間）	乗車人員調査に加え、 ルート別に便別、バス停別の降車人員を調査	・曜日別、バス停別、便別の需要 ・曜日別・便別バス内滞留人数

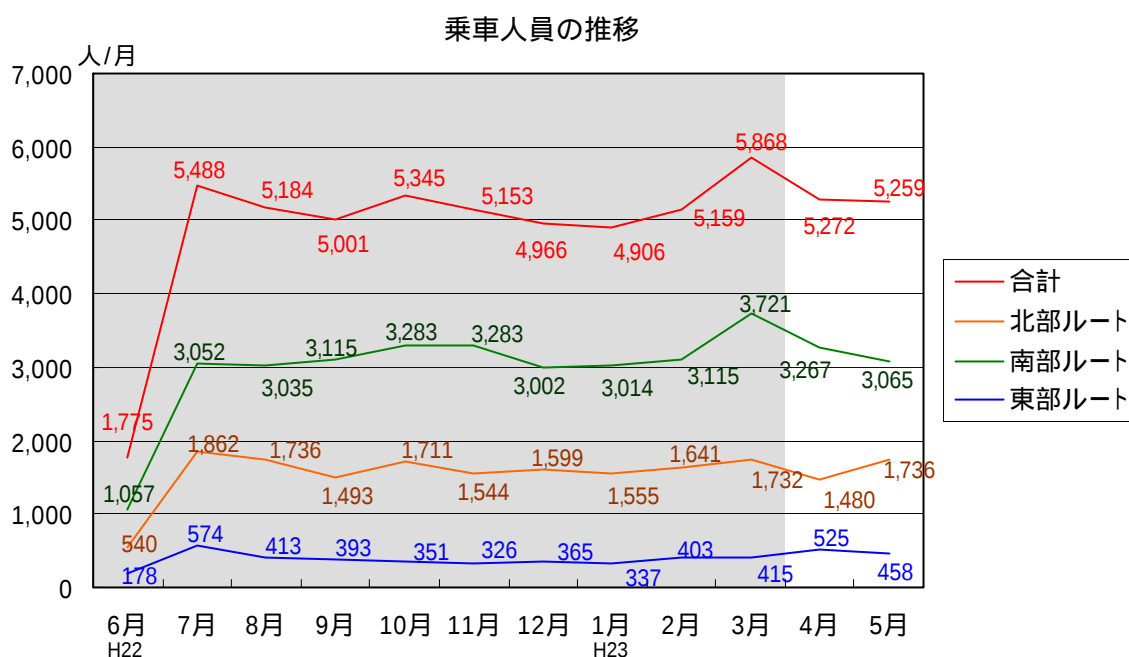
乗車・降車人員のカウントはバス運転手の実施

乗車・降車の両方を調査することはバス運転手に負担をかけるため、降車人員調査は特定期間のみの調査としている

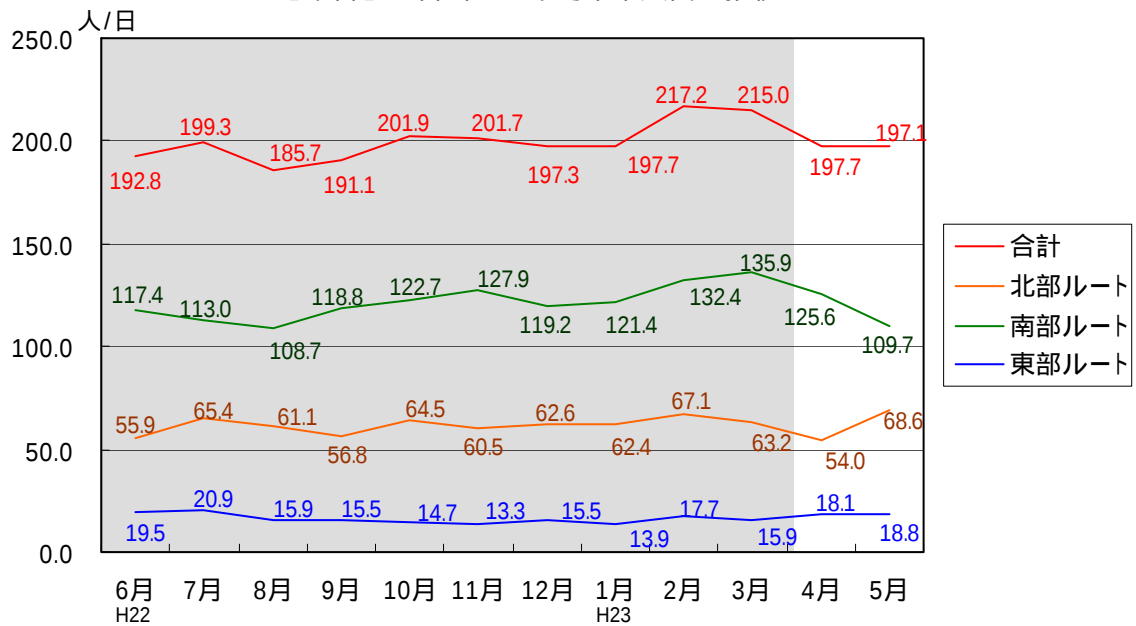
【参考】乗車人員の推移（乗車人員調査）

H22.6は21～30日の10日間の数値

- 新ダイヤとなった4月以降の乗車人員は、利用者の少なかった12・1月から比べると増加している
- 4月以降の平日1日あたり平均乗車人員は、北部・東部ルートで増加し、南部ルートで減少している
- 4月以降の休日1日あたり平均乗車人員は、南部・東部ルートで増加し、北部ルートで減少している



【平日】1日当たり平均乗車人員の推移



【休日】1日当たり平均乗車人員の推移

